

## 死後への備えはありますか？

「ある金持ちの畑が豊作であった。

そこで彼は、心の中でこう言いながら考えた。『どうしよう。作物をたくわえておく場所がない。』

そして言った。『こうしよう。あの倉を取りこわして、もっと大きいのを建て、穀物や財産はみなそこにしまっておこう。そして、自分のためにこう言おう。『たましいよ。これから先何年分もいっぱい物がためられた。さあ、安心して、食べて、飲んで、楽しんで。』

しかし神は彼に言われた。『愚か者。おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。そうしたら、おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。』

## まことの神様がおられる

生かし、あなたのいのちを握っておられるのはまことの神様なのです。

この世界をお創りになった、唯一の、まことの神様がご存在されます。その神様は、自然界の美しさや聖書のみことばを通して、ご自身を啓示しておられます。ところが多くの方々は「神などいない」「死んだら消えて終わりだ」と考えています。また、自分の欲望を叶えてもらおうと木や石の偶像を拜んでいます。このような考え方や生き方は神様の御前に大変な罪です。そしてその罪は死後に必ずさばかれなければなりません。聖書は「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」と警告しています。まことの神様を拒絶するすべて

自分のためにたくわえても、神の前に富まない者はこのとおりです。」  
（新約聖書 ルカの福音書 十二章 十六〜二十一節）

多くの方々が、この金持ちのように、できるだけたくさんのお金をためようとして一生懸命働いておられるのではないうでしょうか？ 貯金通帳の数字が増える事を喜び、自分の資産をなるべく増やそうとし、また、できれば宝くじを当てて大金を手に入れ、一生安心して暮らしたい、と思っておられるのではないのでしょうか。



の人は死後、その神様の御前で自分の犯した罪を明らかにされ、さばかれます。そして、そのさばきの結果、自分の犯した罪の刑罰として、火と硫黄の燃える池で永遠に苦しまなければならぬのです。

## キリストの十字架による救い

しかし、神様は罪人をあわれみ、永遠の地獄から救いたいと願っておられます。そのために救い主として神の御子イエス・キリストを遣わされました。キリストは十字架の上で、私たちが犯したすべての罪を背負い、私たちが代わりに刑罰を受け、血を流し、死なれ、葬られました。しかし、神様はこの御子を三日目に死者の中からよみがえらせ、全人類の救い主としてお立てになりました。今、誰でも自分の

しかし、それらの備えが万全であり、これで安心できると思っても、人間の死は予告なしに突然やってきます。一生使いきれないほどの資産をもっていたとしても、どんな最新の医療を受けたことができたとしても、死を逃れることはできません。それらの備えは死に対して何の役にも立ちません。

## 何が愚かなのか？

この金持ちの愚かさ、彼を生かし、彼のいのちを握っておられたまことの神様のご存在を全く無視し、その結果、ただ生きている間の事しか考えず、死後への備えを全くしなかったところにあります。

そして、同様に多くの方々が神様を無視し続け、この金持ちのように誤った生き方をしています。今日もあなたを

罪を認め、悔い改め、キリストを自分の救い主として信じ受け入れるなら、犯したすべての罪が赦され、永遠のいのちが与えられ、天国に入る特権が与えられます。ただ恵みによって、信じただけで救われるのです。

## 死後への備えとは？

それは、あなたがキリストを信じ受け入れ、死後のさばきからの救いを得たといいつ死んでも天国に入れる特権を持つ者となっておく、ということです。どうかキリストを信じて死後の備えを万全にしてください。お勧めいたします。

